

動物園水族館雑誌投稿規定

(2025年12月改訂)

1. **掲載原稿** 投稿論文は動物園および水族館領域に関する未発表の総説，原著論文，短報，症例報告・事例報告，資料，特集論文，または宿題調査報告とする。全ての投稿論文は，編集委員会またはその委託を受けた審査委員が審査し，編集委員と協議の上で編集委員長が採否を決定する。動物の取り扱いに，倫理，動物福祉上，または国際条約を含む各種法令上の問題が認められる論文は採択しない。
2. **原稿の区分** 投稿区分および原稿の長さの上限は原則として次のとおりとする。宿題調査報告（和文のみ）を除きすべての区分について英文での投稿を受け付ける。

- (1) 総説：動物園・水族館の学術領域において認められた業績，最近国内外の研究動向等を解説したもの。
長さは刷り上り8ページ以内。
- (2) 原著論文：学術の普及及び調査研究に関する研究論文。
長さは刷り上り6ページ以内。
- (3) 短報：学術の普及及び調査研究に関する短い論文。
長さは刷り上り4ページ以内。
- (4) 症例報告・事例報告：症例報告および事例報告等に関する短い論文。
長さは刷り上り4ページ以内。
- (5) 資料：学術の普及及び調査研究に関する学術情報，統計等を解説的に紹介したもの。
長さは刷り上り4ページ以内。
- (6) 特集論文：協会主催で実施したシンポジウムなどの内容を特集し，報告したもの。長さの上限は設けない。（企画者が代表者としてすべての論文を取りまとめ体裁を整えた後，一括して投稿する）
- (7) 宿題調査報告：宿題調査で実施した調査内容を報告したもの。
長さの上限は設けない。

3. **投稿者** 投稿者は本協会の関係者あるいは会員に推薦された者とする。なお宿題調査報告は実施主体に合わせ，会員園館名（ブロック名）・実施者名（会員園館所属職員が個人，または複数で実施した場合）・協会委員会名（部・グループ名含む）とする。なお，有志によるグループの場合は編集委員会との協議によるものとする。
4. **原稿用紙** A4判を用い，上下左右に30mmの余白を取り，1行22字，1ページ22行とする（英文原稿に関しては1ページ22行，フォントをTimes New Roman体の11 pointとする）。ページ番号および，左余白に原稿第1ページ目から1行ごとに連番で行番号をつける。句読点は「，」「。」を用いる。

5. 原稿の構成

- (1) 原稿第1ページの最上段に，希望審査分野（総説，原著論文，短報，症例報告・事例報告，資料，特集論文および宿題調査報告の別）を記載する。その後に，表題・著者名・所属およびその所在地（郵便番号を含む）を和文および英文にて記載する（英文原稿に関しては表題を除き和文を求めない）。編集委員会で表題が長いと判断した場合は，表題とは別に20文字以内の短縮表題の提出を求めることがある。最後に連絡責任者の氏名，所属およびその所在

地（郵便番号を含む）、Fax番号、E-mailアドレスを記載する。

- (2) 第2ページでは、総説および原著論文では600文字以内（英文原稿では300語以内）、短報および症例報告・事例報告には200文字以内（英文原稿では150語以内）の要約を記載する。総説、原著論文、短報および症例報告・事例報告（資料、特集論文および宿題調査報告は除く）は5語のキーワードを付すこと。英文原稿の場合は、英文要旨の直後に600文字以内の和文要旨を付記すること。特集論文については著者の裁量によるものとする。
- (3) 第3ページ以降の記述は、原著論文に関しては原則として「はじめに」、「材料と方法」、「結果」、「考察」、「謝辞」、「ABSTRACT」（英文要旨）、「引用文献」、「キャプション（図あるいは表の掲載がある場合）」の各項目順とする。それ以外については「はじめに」から「考察」までの項目分けはしない。資料、宿題調査報告および特集論文の構成は著者の自由とするが、最終的には編集委員会との協議により決定する。
- (4) 各項目は大見出しとしてゴシック体・太字（英文原稿ではArial, すべて太字・大文字）で書き、1行空けて中央揃えとする。必要に応じて中見出し、小見出しを付ける。大見出し、中見出しに番号は付けない。中見出しはゴシック体・太字（英文原稿ではArial, すべて太字・最初の文字のみ大文字）で左寄せ1字目から書き、その本文は改行して2字目（英文原稿では3文字空ける）から明朝体で書き始める。小見出しもゴシック体（英文原稿ではArial, 最初の文字のみ大文字）で左寄せ2字目（英文原稿では3文字空ける）から書き、本文は見出しの後ろに1字（英文原稿では3文字）空けて明朝体で書き始める。
- (5) 和文原稿においては「ABSTRACT」（英文要旨）は付けることが望ましい（英文原稿については日本語の要旨をその直下に記述すること）。編集委員会が必要と認めた場合には専門家の校閲を受ける。なお、この英文校閲は原稿受理の直前に受ける。著者が専門家もしくは校閲業者に校閲を依頼した場合には（費用は著者の負担）、その旨の証明書を添付する。あるいは、編集委員会が推薦する専門家の校閲を受ける（費用は本規定最後に記載）。

6. 研究倫理

- (1) アニマルウェルフェアへの配慮：各動物は（公社）日本動物園水族館協会「動物福祉規定」に則って取り扱わなければならない。また、「動物の愛護及び管理に関する法律」および関連する法令に定められた動物実験の国際原則である「3R（Replacement: 科学上の利用の目的を達することができる範囲において、できる限り動物を供する方法に代わり得るものを利用すること、Reduction: 科学上の利用の目的を達することができる範囲において、できる限りその利用に供される動物の数を少なくすること、Refinement: その利用に必要な限度において、その動物に苦痛を与えない方法によってすること）」に則って立案され、実行されなければならない。また、必要に応じて当該機関の審査組織より許可を得ることが望ましい・少なくとも、所属長による許可を受けていなければならない。
- (2) 法令の遵守：用いた動物（生体・試料）の取り扱いにあたっては、関連法規を遵守していること。
- (3) 人を対象とした研究：被験者の個人情報・プライバシーが保護されるように配慮されていること。また、被験者の個人情報を収集するような研究の場合には、被験者自身が参加・不参加を自由に決定できるように配慮されていること。

7. **学名** 動植物などの学名は国際命名規約に従い、斜体で表記する。最初に用いた和名には学名を必ず付ける。要旨および「ABSTRACT」（英文要旨）においても最初の種名には学名を付ける。二度目以降は同じ属名については省略形を用いる。また、和名を表記する場合には、標準和名を記載する。

8. **文字・数字・略字・単位** 数字は算用数字を用い、アルファベットと共に半角とし、字体はCentury（英文の場合はTimes New Roman）とする。本文中の動植物名、外来語、外国人名、外国地名はカタカナまたはアルファベット表記（もしくは原表記）とする。略字を使用するときは、論文中にはじめて使用するときには完全な語を掲げ、そのあとに略字をカッコで括って提示する。

例：公益社団法人日本動物園水族館協会（日動水）

単位は下記の国際単位記号（SI）に従う。

mol, mmol, μ mol, N, %, m, cm, mm, μ m, nm, pm, cm², m², L, mL, μ L, t, kg, g, mg, μ g, ng, pg, h, min, sec, rpm, Hz, Bq, mBq, μ Bq, kBq, cpm, ppm, °C, J, lx

9. **文献の引用** 本文中の引用文献の記載は次のようにする。

「間接引用の場合」…と報告されている（古賀，1962），（Harcort，1984；古賀・鈴木，1962；Holland and Jennings，1997；古賀ほか，1962；Ojha *et al.*，1986）

「直接引用の場合」古賀（1962）は…，浅倉・中川（1959）によれば…，Holland and Jennings（1997）によれば…，田代ほか（1996）は…，Ojha *et al.*（1982）は…

10. **引用文献リスト** 著者、共著者のアルファベット順に配列する。同一著者の文献を複数引用するときは、著者1名だけのものを最初に、共著者1名のものを次に、共著者2名以上のものを最後にする。また、同一著者が同年に2編以上発表したものを引用する場合は、発行順に年号の後ろにa. b.を付け区別する。なお、雑誌名は略記せず正式誌名（フルタイトル）を記載する。英文原稿の場合は別途、英語版投稿規定を参照。

引用文献リストの記載例：

（1）英語論文の場合

Holland, M. and Jennings, D. (1997) Use of electromyography in seven injured wild birds. *Journal of the American Veterinary Medical Association*, 211 (5): 607-609.

（2）日本語論文の場合

浅倉繁春，中川志郎（1959）上野動物園に発生した鳥類の腺癌について。日本動物園水族館雑誌，1（1）：2-4.

（3）訳本の一部を引用する場合

Edward, C.R.（成島悦雄訳，2007）クマ科とハイエナ科。In: 野生動物の医学：515-528, Murray, E.D. and Miller, R.E. 編，文永堂，東京。

（4）訳本の全体を引用する場合

Nelson, R. W. and Couto, C. G.（長谷川篤彦，辻本 元訳，2005）スモールアニマル・インターナショナルメディスン。690pp. メディカルサイエンス社，東京。

（5）和書の一部を引用する場合

大島 清（1982）ニホンザルの性行動の周期性。In: 性行動のメカニズム：101-124. 大西英爾，日高敏隆編，産業図書，東京。

（6）和書の全体を引用する場合

島 泰三 (2002) : アイアイの謎. 175pp. どうぶつ社, 東京.

(7) 洋書の一部を引用する場合

Wells, R. S. and Scott, M. D. (1999) Bottlenose dolphin *Tursiops truncatus*. In: Ridgeway, S. H. and Harrison, S. R. (eds) Handbook of Marine Mammals, 6, The Second Book of Dolphins and Porpoises. Academic press, New York, pp137–182.

(8) 洋書の全体を引用する場合

Feduccia, A. (1999) The Origin and Evolution of Birds (2nd ed.). Yale University Press, London. 466pp.

(9) ウェブサイトから引用する場合

International Union for Conservation of Nature and Natural Resources (2016) The IUCN Red List of Threatened Species, Version 2016-1, <https://www.iucnredlist.org/> [Verified 20 July 2016]

(10) 電子文献 (e-pub firstなど) を引用する場合

Peterson, M. J., Mueter, F., Criddle, K. and Haynie, A. C. (2014) Killer whale depredation and associated costs to Alaskan sablefish, Pacific halibut and Greenland turbot longliners. PLOS ONE 9: e88906

(11) 動画を引用する場合

The University of Birmingham (2010) The University of Birmingham experience. <https://www.youtube.com/watch?v=YLxV5L6IaFA> [Verified 18 June 2015]

1 1. 図表 図の提出に際してはJPEG, TIFFまたはPowerPoint (PPTまたはPPTX) ファイルで提出し, 掲載時のサイズ (横7cmまたは14cm) で, 白黒は1,200dpi以上, グレースケールとカラーは300dpi以上とする. 挿入位置を本文の右欄外に指示する. 図表の書き方は下記のとおりとする.

(1) 図および写真は記載順に図1, 図2, 図3などと通し番号を付ける.

(2) 図は校正が出来ないので文字などの誤り, 脱落に注意する.

(3) 図の刷り上がりは, 幅が約7cmか14cmになるのが望ましく, 縮小できるように, 図中の文字や線などは縮小率を考えて大きさを決めること.

(4) 表は記載順に表1, 表2, 表3などと通し番号を付ける.

(5) 表はできるだけ横罫線だけで作成する.

(6) 図表のタイトルおよびキャプションは, 一覧を別紙で添える.

(7) 図表のカラー印刷を希望する場合は別途料金がかかる. カラー印刷を希望する場合はその旨記載する.

1 2. 脚注 脚注を要するときは, 表示の語句の右肩に*1, *2, *3, を付記し, 下欄外にそれぞれに説明を記す.

1 3. 掲載順 原則的に受理順とする.

1 4. 著者負担

(1) 英文校閲や版トレースなどの実費.

(2) 前記各区分の指定ページ数を超える分の超過ページ料.

(3) カラーの写真・図・表の印刷代, および合計6点を超える白黒の写真・図の印刷代.

(4) 50部を超える分の別刷り料金 (希望する場合は投稿者チェックシートにその旨を記載する).

(5) 別刷データ (PDF) 料金.

なお、料金は欄外に記載.

15. 原稿の送付 原稿は電子投稿とし、以下の形式で電子ファイルあるいは電子メールにより編集委員会宛に提出する.

(1)本文と図の説明文: Wordファイル

(2)図: JPEG, TIFF, またはPowerPoint (PPTまたはPPTX) ファイル

(3)表: ExcelファイルまたはWordファイル

なお、印刷体での投稿を希望する場合には、原稿はオリジナル1部とコピー2部を提出する。図・写真・表はオリジナル3部を提出する。提出された原稿は返却しない。論文が受理された場合は、CD-ROM, E-mailなどでデジタル化した原稿を提出する。

投稿に際しては、動物園水族館雑誌投稿者用チェックシートを記入し、必ず添付あるいは同封する。なお、英語版チェックリストを希望する場合は、JAZA公式ホームページよりダウンロードして使用できる。 <https://www.jaza.jp/publication/magazine>

原稿の送付および照会先は以下のとおりとする。

〒110-8567 東京都台東区台東4-23-10

ヴェラハイツ御徒町402

公益社団法人日本動物園水族館協会

動物園水族館雑誌編集委員会

E-mail address: jjaza@jaza.jp

16. 著作権 受理された時点で、公益社団法人日本動物園水族館協会に属する。論文の二次利用、図表の転載については、事前に協会の許可を受けること。

17. 個人情報 予め投稿者の許可を得た事項のみを本誌に掲載する。

* 投稿規定にかかわる著者負担金一覧 (税別) *		
1. 英文校閲料	1単語	20円
2. 超過ページ料 (各区分の指定ページ数を超える分)	1 ページ	10,000円
3. 別冊料金 (50部を超える分)	1 ページ 1 部	10円
4. 別刷データ料 (PDF)		5,000円
5. 超過写真・図印刷代 (6点を超える分)	1 点	1,100円
6. カラー写真・図・表の印刷費	1 ページ 1 点	43,000円*
		* (同頁内追加1点につき 3,000円)

※宿題調査報告および特集論文のうち (公社) 日本動物園水族館協会主催の会議・シンポジウムを取りまとめたものについては負担金は発生しない